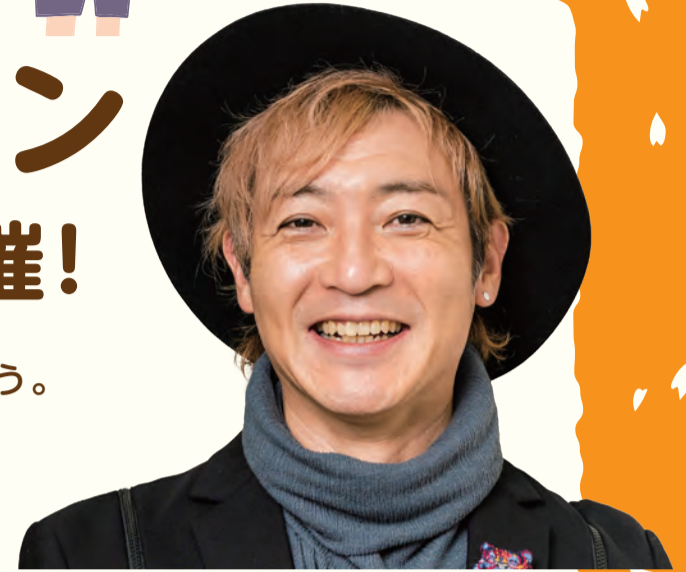


# こどもまんなかアクション リレーシンポジウム ⑩ おおいたが開催!

今を生き、未来を担う子どもたちに対して、私たち大人ができることはなんだろう。  
令和6年2月26日(月)コンパルホールにて開かれたシンポジウムでは、  
こども家庭庁が目指す「こどもまんなか社会」の実現において  
考えるべき課題のひとつ、「パパの子育て」についての講演が行われました。



つるの剛士さん

## こどもまんなか 社会の実現に向けて 「パパの子育てを考える」

シンポジウムは、佐藤樹一郎大分県知事による開会の挨拶から始まり、親子連れなどさまざまな世代の来場者が耳を傾けるなか、加藤こども政策担当大臣よりビデオメッセージが届けられました。基調講演は、こども家庭庁の山口正行氏(こども家庭庁成育局長)が、「こども家庭庁創設の背景やこども基本法制定の意義、こども子育て世帯のための切れ目のない支援を目指す「こども未来戦略」について説明されました。



シンポジウム後半は、スペシャルゲストとしてタレントのつるの剛士さんが登場し、自らの子育て体験談を交えつつ、山口氏とパパ目線のトークセッションを繰り広げました。  
また、会場には託児ルームも用意され、利用する人も多く見られました。



### こども家庭庁による基調講演 「こどもや子育て 当事者の視点から 多様な支援を届けます」

こども家庭庁が掲げるスローガン「こどもまんなか」には、こどもの声をしっかりと聞き、その声をまんなか置き、政策を進めるといった思いが込められています。そのため自治体や民間団体との連携が不可欠です。また、こども家庭庁の発足と同時に施行された「こども基本法」を踏まえる必要があります。

この法律には「すべてのこどもは個人として尊重され、基本的な人権が守られ、差別されないこと」などの基本的理念が掲げられています。  
また、「こども子育て政策を抜本的に強化する」「こども未来戦略」では、児童手当の拡充や出産育児一時金の引き上げ、「こども誰でも通園制度」の創設や、男性の育児取得促進による共働き・子育ての推進などについて、今後3年間で集中的に取り組みすることとしており、こうした取り組みを通じて「こどもまんなか社会」を目指していきます。  
山口正行氏



### 加藤こども大臣のビデオメッセージ要旨 「皆で「こどもまんなか社会」に！」

昨年12月に閣議決定された「こども大綱」では、すべてのこどもが幸せな状態で生活を送ることができ、「こどもまんなか社会」の実現を目指しています。「こども子育てにやさしい社会づくりのためには、すべての人がこども子育て中の方々を応援するといった意識改革を進める必要があります。そこで政府では、企業・個人・地方自治体などに「こどもまんなか応援サポーター」



### スペシャルゲスト つるの剛士さん 「パパの子育てを考える」

つるの 僕には20歳の長男と18歳の長女、高校2年生の次女、中学2年生の3女、7歳の次男がいますが、育児を取得したのは2010年の1月。3女が2009年に生まれたのでその時期になります。当時は仕事が忙しく、家に帰るのは仮眠をとるときだけ。すると家庭の雰囲気が険悪になり、「このままじゃまずい!と。自分の父親の教訓だった「家庭を基盤にしないと仕事は上手くいかない」という言葉を思い出して、ベストフアーザー賞をいただいたステージ上で育児休業を宣言しました。



山口 私も15年前に育児を取得していますが、当時の取得率は1%くらい。ですからつるのさんの時代も1%ほどだったと思われれます。でも芸能界ではさつと前例がなかったでしょうね。

つるの 今こそ育児という言葉はたくさんの人に浸透していますが、当時は違いましたからね。でも育児が明けた後に、イクメンという言葉が出てきてその年の流行語大賞にもトップテン入りして。自分も賞を貰いました。が、当たり前のことでした。でも今の若い子は男性も育児に関わるのが当然と考えているし、社会にも、育児は取らなくてはならないという風潮がある。ただ僕はそこに危機感を感じていて、本来の意味が薄れてきてないかな?と。休みを取ることが目的になり、家族の思い出づくりの環境や、ただの休暇のように捉えられている気がします。



山口 本来、育児のメリットを受けられるのは、取得した男性であると考えています。私は第2子のときに取得しましたが、1番良かったのは上の子と過ごす時間が増え、絆が深まったこと。育児本来の意味を理解し、ぜひ男性から一歩を踏み出してほしいですね。

つるの 仕事の場合は頑張り次第で評価もされるし、給料も上がる。でも家事育児って誰からも評価をされない。消化不良、達成感を得られない毎日が続くわけです。家族の食事やお弁当を作り続けても、こどもからは感謝の言葉もなくて、ただ空のお弁当箱を戻される毎日。この経験をして初めて奥さんの気持ちがわかりました。僕は育児という言葉を、男の家庭訓練に変えた方がいいと思っています。家にママは2人いらなくとも、理解者は必要。夫婦の仲が良ければなんとかなります。

山口 確かに仲の良い両親が身近にいることで、お子さんが結婚のイメージを描きやすくなるということはあるかもしれません。長い目で見ると、そんな夫婦の姿がこども家庭庁の目指す「こどもを生き育てやすい社会」につながっていくのかなと思います。



主催：大分県  
共催：こども家庭庁

## こどもまんなか社会の実現に向け、さまざまな支援を進めます。

|  |   |   |   |  |  |
|--|---|---|---|--|--|
| <p>すべてのこどもと子育てにもっと笑顔を</p> <p><b>子育て支援の充実</b></p> <p>伴走型相談支援や産後ケア、こども誰でも通園制度で切れ目なく寄り添った育児支援で安心して子育て。すべてのこどもの育ちを応援します。</p> | <p>子育て世帯の家計を応援</p> <p><b>児童手当</b></p> <p>児童手当の所得制限撤廃・支給期間延長・第3子以降の大幅増額、住宅支援の強化、雇用保険の適用拡大、年金保険料免除など。子育て家計を応援します。</p> | <p>パパ育児を当たり前</p> <p><b>「共育」を応援</b></p> <p>育児をとりやすく、時短勤務を選択しやすく。看護休暇をもっととりやすく。学級閉鎖や入学式などでも使えるようにします。</p> | <p>貧困に悩まず将来の夢を実現できるように</p> <p><b>学びも生活も支援充実</b></p> <p>児童扶養手当の拡充や、ひとり親の方への就業支援等の充実、ひとり親家庭などのこどもたちへの学習支援の拡充など、多面的に支援します。</p> | <p>こども・若者や、障害をもったこどもへ</p> <p><b>地域支援体制強化</b></p> <p>様々な「気づき」から専門的支援に早くつながる体制に。障害児や医療的ケア児の保育所等の受入体制もさらに充実。安全な居場所づくりも進めます。</p> | <p>大学も安心して挑戦</p> <p><b>高等教育費の負担軽減</b></p> <p>多子世帯や理工農系の学生等へ対象が拡大。こどもが3人以上いても家庭が負担する大学授業料などが2人以下に。進学への挑戦が広がります。</p> |
|--|---|---|---|--|--|